

てらこや くろきじゆく
寺子屋「黒木塾」 (薩摩川内市)

□ **地域塾の構成**

小学生16人, 中学生13人 計29人

□ **代表者**

代表 平山 淳郎

□ **設立年**

令和3年

□ **活動を始めたきっかけ・背景**

前身の「黒木地域おこしキッズ隊」の活動を見直すとともに、地域学校協働活動の推進による特色ある地域づくりなどへの対応として、学校と地域の様々な団体等との連携・協働により、黒木の子供たちの学びの場・体験の場を設定し、継続することで、地域の人材育成や活性化につなげる。

□ **地域塾の目的**

黒木のよさを知り、「黒木魂」の精神に満ちた心身ともにたくましい子供を育成するとともに、地域全体で子供たちの学びや成長を支える雰囲気醸成する。

また、地域学校協働活動の核となる活動として位置付けることにより、学校と地域の相互理解を深め、連携の強化を図る。

□ **地域塾の特色**

地域伝統芸能「黒木鷹踊り」の継承活動に取り組んでおり、保存会や青壮年部の指導を受けて練習を積み、校区の夏祭り、校区との合同運動会、神社の大祭での奉納が発表の場となっている。

- ・ 講師を招聘しての学習会、体験活動
- ・ 「黒木鷹踊り」の伝承活動

□ **今後の展望**

学校側は「地域とともにある学校」、地域側は「地域の子供は地域で育てる」を合言葉に、黒木独自の地域学校協働活動を軌道に乗せていく。

□ **紹介プロフィール**

- 1 黒木地域の気風として受け継がれている「黒木魂」の精神と、地域伝統芸能「黒木鷹踊り」の継承活動を行っている。3年生以上の小学生・中学生・高校生の異年齢集団で保存会・青壮年部など地域人材の指導を受けて行う練習と、校区夏祭りや校区との合同運動会での披露、神社の大祭での奉納は、「黒木魂」を育む良い機会となっている。
- 2 地域全体で子供を育てることを意識した活動により、地域の活性化と発展を目指している。
- 3 学習活動・体験活動に外部講師を招聘し、特色ある活動を展開している。

【活動の様子】

